

桂歌助師匠プロフィール

本名：関口昇（せきぐちのぼる）
出身：新潟県十日町市
生年月日：昭和37年9月19日生
血液型：O型
最終学歴：昭和62年 3月 東京理科大学理学部数学科卒業
芸歴：昭和60年12月 師匠歌丸に入門、歌児となる
昭和61年 3月31日 横浜三吉演芸場で初高座
同年 5月 前座になる
平成 2年 6月 ニツ目に昇進、歌助に改名
平成11年 5月 真打に昇進



出囃子：十日町小唄
家紋：丸に三つ柏
趣味：草野球、ヘボ碁、旧街道歩き、東八拳、合気道
特技：寄席の踊りを踊ります。カッポレ、奴さん、ずぼら等
著書：平成30年7月『師匠 歌丸 背中を追い続けた三十二年』（株式会社イースト・プレス発売）
ホームページ：<http://utasuke.com/>

自己紹介と活動内容



昭和37年9月19日、新潟県十日町市（雪ときものとコシヒカリ）で生まれました。5人兄弟の3男。高校時代は甲子園をめざして練習にあけくれました。が、あと3歩のところまで涙をのみ、甲子園には見に行きました。ポジションは1番で、投手、内野、外野みんなやりました。大学では数学を専攻し、英語研究部に所属し、在学中に落語家になりました。古典落語の公演を中心に仕事をしております。

インターネットを落語にいち早くとりいれました。日本舞踊も踊ります。歌舞伎座出演、「遁成寺」の所化、「君が代松竹梅」平成25年国立劇場にて「七福神」を踊りました。平成17年6月から8月にかけて東海道五十三次すべての宿場で落語会を行いました。平成12年TBS「水戸黄門」に準レギュラー出演。宿場落語を創作発表して参りました。平成25年NHK時代劇「薄桜記」に幫間役で出演。

舞台役者としては新宿コマ劇場細川たかしさんのお芝居。三越劇所にて春秋男組公演のレギュラー出演をしています。

笑いは健康と美容と人間関係円滑の元です。東海道を歩いて落語をしたことと水戸黄門出演経験から、町作りを応援している自治体からも広く講演を頼まれます。PTA活動の中で子どもに落語を教える授業も多くの学校から頼まれております。日本の古典文化の始まりは鎌倉仏教です。お寺さんでの公演も多く古典の発展が、日本人の心も豊になる事をうたえています。